

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年2月22日作成)

委員会名	地震荷重比較検討小委員会	主 査 名：石山祐二
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：石山祐二
設 置 期 間	2003年4月 ～ 2007年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2005年度は、2004年度改定の荷重指針の地震荷重に基づき、各種設計用地震荷重の比較をする予定。特に、現行建築基準法のアンバランスなどを明確にする。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：石山祐二(北大)、幹事：高田毅士(東大)、井上超(ハザマ) 藤堂正喜(戸田建設)、福島誠一郎(東電設計)、田村良一(大成建設)、石井透(清水建設)、曾田五月也(早稲田大)、中村博一(フォーラム8)、石田章(鹿島建設)、松村和雄(鹿児島大)、	
設置 WG (WG名：目的)		
2004年度予算	220,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催日：4/16(6), 6/29(6), 7/21(9), 10/26(6), 2/1(6) 括弧内は参加者人数
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	<p>本小委員会では、改訂中の「建築物荷重指針・7章 地震荷重」の執筆、解説を作成し、2004年9月に刊行し、各支部で開催された荷重指針講習会を積極的に支援した。</p> <p>一方、委員会を2004年度、計5回を実施した。委員会では、もっぱら荷重指針の改定に向けた作業および講習会の準備であった。</p> <p>建築学会大会(北海道)では、「確率論的地震動予測地図の設計/評価への活用」と題したPDを行い、多くの参加者を得た。</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
	<p>今年度前半は、荷重指針の改定作業が中心であり、荷重指針については予定通りの達成度である。</p> <p>後半は、各種設計用地震荷重の比較のための準備作業に関する議論を行った。</p>
その他評価すべき事項	2005年度からは、石山主査に代わって、高田幹事が主査を引き継ぐことになった。